

# 花

小橋 圭介

## 1. はじめに

本制作では、日本における「美意識」を絵画という観点で捉え表現することを目的とする。

日本人の美意識や感性は、その根底に自然を愛でる精神が息づいている。自然を愛し、自然との一体感の中に美を見出そうとする心が尊重され、自然の形に近い非定形の形に美を感じたり、茶の湯や枯山水のように表現に自然の見立てを取り入れるといったスタンスが、芸術の基本だと考えられてきた。その結果、自然の形を表現の形に取り入れたり、逆に自然を幾何学的な形に昇華させたりすることが表現手法として定着し独自の様式を確立させていった。今回は、その中でも「平面的描写」、「省略」、「文様」、「ぼかし・にじみ」に着目して制作していく。

## 2. モチーフの選定

日本は他国と比較しても「四季」がはっきりした国であり、そのため気候が移ろうことによって様々な「植物」が芽吹き、私たちの生活に彩りを与えている。古くから日本人は、植物をただ愛でるだけでなく、その実を摘んで糧にしたり染色の素材として活用してきた。表現領域においても例外ではなく、絵画や詩・句、音楽など植物を題材にした作品は枚挙にいとまがない。それは、この豊かな植生が私たち日本人にとって創作意欲を刺激するモチーフだからではないだろうか。本作も、植物をモチーフに制作した。

## 3. 表現技法について

今回着目した表現技法は、多様な表情を要求する。それらに 대응する画材として、均一な塗りや塗りムラ（ぼかしなど）の両方が表現可能な透明水彩絵の具を使用した。以下、それぞれの表現技法について触れる。

平面的描写：美しい平面造形の在り方を西洋と日本という対比で考えると、西洋では基本的に「遠近法」が重視され写実描写が発達してきた。一方、日本で追求されていったのは、陰影をつけずに描き出す技法であった。あえて対象を忠実に描かずに、どう描

けばより対象が魅力的に見えるのか。全作にこの表現を取り入れており、対象物の特徴を抽出する行程は非常に困難を要した。

省略：省略は制作者の対象へのイメージが基本となり、写実的把握を行った上でそれをいかに崩していくかが問われてくる。全作において対象の観察並びに解体と再構築を行い、形を検討していった。

文様：植物や自然をモチーフにした抽象性、数理的な構成や繰り返しによって生まれるリズムとバランス感覚など、日本の文様は多くの魅力を持っている。「桔梗」は文様の造形を意識して、パターンとしての可愛らしさや明瞭さを形の検証を重ねながら高めていった。

ぼかし・にじみ：「ぼかし」や「にじみ」は、非定形で再現性のない形とも言える。それらを意識して「月下美人」を制作した。月夜に浮かんだ花卉を包む夜空や雲を「にじみ」で表現している。偶発性が高い技術ではあるが、紙面に這わせる水の量や筆にふくませる絵の具の量などを調整することで制御の余地はある。そこにまた「ぼかし」や「にじみ」の面白さがある。

## 4. まとめ

季節の移ろいと共に現れる花々は、私たちの五感を楽しませてくれる。改めて、日本の美意識と植物との密接な関わりを制作から体感できた。絵画表現は視覚による伝達が主であるが、日本は様々な表現技法を駆使することで、嗅覚や聴覚といった視覚以外へも働きかける術を体系化してきたといえる。それは、西洋が発達させてきた写実主義とはまるで違う方向性であり、陰影を間引き、形を省略し、情報を引き算していくことによって、対象の本質を浮き彫りにし観賞者の想像力を掻き立てる。これこそ日本が培ってきた表現の在り方であり、自然との対話に鋭敏だった日本だからこそ生まれた感性ではないだろうか。

今後も制作を通して、日本人に宿る美意識や自然との対話法について追究していく。



つつじ



月下美人



桔梗



木蓮

## Flowers

KOHASHI Keisuke

In this production, I intend to express the Japanese "aestheticism", which is captured from the perspective of painting.

The aestheticism and sensitivity of the Japanese are based on the underlying spirit of admiration towards nature. The love of nature and the effort of trying to find beauty in the sense of unity with nature have been respected by people's heart. Feeling of beauty in a non-finite form which is close to nature and the stance where resemblance of nature was incorporated into the expression, such as tea ceremony and dry landscape, have been considered to be a basic concept of art. As a result, the expression techniques in which a natural form is adopted into the expression form and sublimating nature into geometric shapes on the contrary were established. Then they have been developed into their own style. This time, my production will focus on "planar depiction", "omission", "pattern" and the "shading and bleeding" among them.

